障がい児者実態等調査結果の概要

1 実態等調査の概要

(1) 目的

新「さっぽろ障がい者プラン」の策定にあたり、障がい児者の実態、ニーズ等を把握する。

(2) 調査期間

平成28年11～12月

(3) 調査対象者・調査方法

① 障がい者に対するアンケート調査

●身体・知的・精神～手帳所持者に対して郵送で行った。

② 障がい児（保護者）に対するアンケート調査

●身体・知的～手帳所持者に対して郵送で行った。

③ 難病患者に対するアンケート調査

●難病患者団体の会員に対して郵送で行った。

④ 施設入所者調査

●入所者等の状況等調査

札幌市内の施設入所者について、施設職員が本人に聴き取った。

⑤ 精神科病院入院患者調査

●札幌市内の精神科病院入院患者について、病院職員が本人に聴き取った。

⑥ 市民意識調査

18歳以上の市民に対して郵送で行った。

(4) 回収状況

- ① 障がい者に対するアンケート調査
発送 6,000 票 回収 3,039 票 回収率 50.7%
- ② 障がい児（保護者）に対するアンケート調査
発送 1,000 票 回収 466 票 回収率 46.6%
- ③ 難病患者に対するアンケート調査
発送 500 票 回収 108 票 回収率 21.6%
- ④ 施設入所者調査
発送 30 票 回収 25 票
- ⑤ 精神科病院入院患者調査
発送 38 票 回収 26 票
- ⑥ 市民意識調査
発送 3,000 票 回収 1,094 票 回収率 36.5%

2 調査結果の概要

障がい者保健福祉計画の分野ごとに、関連する主な項目を記載。

(【 】内は前回調査時の数値)

分野1 理解促進

○ 障がい者に対するアンケート調査

- ・障がいのある人に対する市民理解
深まっていると思う (6.8%) 【8.8%】
まあまあ深まっていると思う (19.8%) 【20.5%】
- ・障がい者への理解を深めるために必要なこと
福祉教育の充実 (44.9%) 【45.9%】
ボランティアの育成 (32.1%) 【35.9%】

○ 障がい児（保護者）に対するアンケート調査

- ・障がいのある人に対する市民理解
深まっていると思う (2.1%) 【2.7%】
まあまあ深まっていると思う (12.2%) 【16.3%】
- ・障がい者への理解を深めるために必要なこと
障がいのある人とない人が一緒に教育できる場 (70.4%) 【70.6%】
福祉教育の充実 (61.6%) 【64.5%】

○ 難病患者に対するアンケート調査

- ・障がいのある人に対する市民理解
深まっていると思う (3.7%) 【5.3%】
まあまあ深まっていると思う (15.7%) 【21.2%】
- ・障がい者への理解を深めるために必要なこと
福祉教育の充実 (59.3%) 【70.8%】
ボランティアの育成 (50.9%) 【53.0%】

○ 市民意識調査

- ・障がいのある人と気軽に話したり、手助けしたりしたこと
ある（69.9%）【72.6%】
- ・障害者差別解消法の認知度
知らなかった（68.8%）【71.0%】
- ・心のバリアフリーガイドの認知度（新規）
知らなかった（88.1%）

分野2 生活支援、分野3 保健・医療

○ 障がい者に対するアンケート調査

- ・現在受けている障害福祉サービスの内容についての満足度
満足している（34.1%）【37.1%】
おおむね満足している（42.0%）【38.8%】
- ・障害福祉サービスで支払っている利用者負担の負担感（※）
特に負担とは感じない（18.5%）【32.9%】
これくらいの負担はやむをえないと思う（24.7%）【30.3%】
- ・福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと
利用手続きの簡素化・迅速化（54.1%）【53.4%】
サービスを利用する際の窓口がわかりやすいこと（39.1%）【39.3%】
緊急時への対応（38.8%）【41.3%】
- ・希望する生活をするためにあればいいこと
高齢になっても安心して生活できること（54.4%）【45.7%】
困ったときに相談できて教えてくれる場所（39.3%）【36.9%】

○ 障がい児（保護者）に対するアンケート調査

- ・現在受けている障害福祉サービスの内容についての満足度
満足している（36.2%）【29.5%】
おおむね満足している（47.0%）【48.6%】
- ・障害福祉サービスで支払っている利用者負担の負担感（※）

特に負担とは感じない（10.1%）【13.7%】

これくらいの負担はやむをえないと思う（33.4%）【41.0%】

- 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと

利用手続きの簡素化・迅速化（69.3%）【64.1%】

緊急時への対応（50.6%）【52.2%】

- 希望する生活をするためにあればいいこと

高齢になっても安心して生活できること（31.3%）【38.0%】

困ったときに相談できて教えてくれる場所（31.3%）【34.9%】

○ 難病患者に対するアンケート調査

- 現在受けている障害福祉サービスの内容についての満足度

満足している（12.0%）【15.5%】

おおむね満足している（64.0%）【39.7%】

- 障害福祉サービスで支払っている利用者負担の負担感（※）

特に負担とは感じない（12.0%）【17.2%】

これくらいの負担はやむをえないと思う（24.0%）【41.4%】

- 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと

利用手続きの簡素化・迅速化（73.1%）【71.6%】

サービスを利用する際の窓口がわかりやすいこと（58.3%）【59.5%】

- 希望する生活をするためにあればいいこと

高齢になっても安心して生活できること（47.2%）【52.7%】

困ったときに相談できて教えてくれる場所（32.4%）【39.8%】

※ 障害福祉サービスで支払っている利用者負担の負担感の設問については、負担を感じている人が増加しているように見えるが、今回調査より「利用負担はない」の選択肢を新設したため、この人数を「特に負担とは感じない」に入れ込むと、負担を感じていない人は増加している。

○ 施設入所者調査（身体障がい）

- 地域生活への移行について本人の意向
 - 地域生活をしたいと思っている（0.4%）【1.8%】
 - 地域生活に関心がある・興味を示している（2.8%）【3.9%】
- 退所に向けての問題点
 - 夜間や緊急時の支援に不安（74.0%）【34.3%】
 - 服薬管理を含めた医療ケアに不安（38.0%）【33.6%】
 - 生活費が十分でない（29.6%）【6.7%】

○ 施設入所者調査（知的障がい）

- 地域生活への移行について本人の意向
 - 地域生活をしたいと思っている（8.3%）【3.4%】
 - 地域生活に関心がある・興味を示している（2.2%）【8.0%】
- 退所に向けての問題点
 - 夜間や緊急時の支援に不安（51.1%）【42.3%】
 - 一度退所すると再入所できるか不安（33.3%）【19.9%】
 - 服薬管理を含めた医療ケアに不安（24.3%）【33.6%】

○ 精神科病院入院患者調査

- 入院患者の症状
 - 寛解（5.0%）【7.3%】
 - 症状残存だが支援により退院可能（6.5%）【7.3%】
- 退院に向けての支援プログラム
 - 服薬の必要性を促す（40.2%）【36.8%】
 - 社会生活技術の取得を促す（36.4%）【23.6%】
 - 地域の社会資源情報を伝える（13.2%）【26.8%】
- 退院に向けての必要資源（生活支援）
 - 訪問看護サービス（43.8%）【38.5%】

分野4 生活環境

○ 障がい者に対するアンケート調査

- 外出時に利用する乗り物
 - 地下鉄 (55.6%) 【56.3%】
 - 路線バス (43.1%) 【48.1%】
 - 自家用車 (32.3%) 【31.3%】
- 外出する時に困っていること
 - 特にない (30.5%) 【32.1%】
 - 交通費がかかる (21.5%) 【20.9%】
 - 人の目が気になる (18.2%) 【13.1%】
- 入居するまでに困ったこと
 - 困ったことはない (54.6%) 【新規】
 - 保証人が見つからなかった (15.1%) 【12.8%】
- 今後、生活したい場所
 - 家族または自分の持家 (42.3%) 【38.1%】
 - 民間のアパートなどを借りて生活したい (15.2%) 【14.3%】

○ 障がい児（保護者）に対するアンケート調査

- 外出時に利用する乗り物
 - 自家用車 (75.2%) 【70.1%】
 - 地下鉄 (34.3%) 【39.0%】
 - 路線バス (28.0%) 【32.2%】
- 外出する時に困っていること
 - 特にない (26.5%) 【27.0%】
 - 安心して利用できる施設、トイレが少ない (23.5%) 【28.0%】
 - 交通費がかかる (17.6%) 【20.0%】
- 将来、生活したい場所
 - 持家（一戸建て・分譲マンション） (58.8%) 【48.2%】
 - 民間のアパートなどを借りて生活したい (11.2%) 【11.4%】

グループホーム（11.2%）【15.9%】

○ 難病患者に対するアンケート調査

- 外出時に利用する乗り物
 - 自家用車（56.1%）【54.3%】
 - 地下鉄（55.1%）【50.0%】
 - 路線バス（40.2%）【37.1%】
- 外出する時に困っていること
 - 特にない（29.9%）【22.7%】
 - 歩道が歩きにくい（26.2%）【32.8%】
 - 交通費がかかる（23.4%）【30.1%】
- 入居するまでに困ったこと
 - 困ったことはない（78.7%）【新規】
- 今後、生活したい場所
 - 家族または自分の持家（58.0%）【63.6%】
 - 施設に入所（12.5%）【6.4%】
 - 公営住宅（10.2%）【11.0%】

○ 市民意識調査

- 3年前と比べて物理的バリアは改善されていると思うか
 - かなり改善されている（8.2%）【7.5%】
 - 少しずつ改善されている（52.2%）【58.7%】
 - あまり改善されていない（13.0%）【11.9%】
- 札幌市が障がいのある人にとって地域で暮らしやすい都市であると思うか
 - まあそう思う（27.3%）【26.0%】
 - あまりそう思わない（24.2%）【24.8%】
- 暮らしやすいと思わない理由
 - 障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などの整備が不十分（70.9%）【66.9%】

障がいのある人からの相談を受ける体制が整っていない (56.2%) 【58.7%】

障がいのある人の就労が困難 (51.3%) 【52.2%】

分野5 教育・発達支援

○ 障がい児（保護者）に対するアンケート調査

- ・子どもの当面（直近）の進路

特別支援学校（小・中・高） (24.0%) 【28.2%】

小・中学校（通常の学級） (17.0%) 【13.9%】

小・中学校（特別支援学級） (16.3%) 【20.4%】

- ・今後の教育や療育について力を入れるべきこと

障がいに応じた教育内容の充実 (42.3%) 【45.9%】

義務教育終了後の進路（就職先）の確保 (41.8%) 【49.0%】

通常の学級、保育所、幼稚園への受入の充実 (30.5%) 【33.1%】

分野6 雇用・就労

○ 障がい者に対するアンケート調査

- ・仕事を続けるうえで必要なこと

自分に合った仕事や働く場を見つけてくれるところがある (39.9%) 【39.8%】

勤務時間が調整できる (29.7%) 【25.2%】

職場で仕事がしやすいように支援してくれる (28.6%) 【28.5%】

○ 難病患者に対するアンケート調査

- ・仕事を続けるうえで必要なこと

勤務時間が調整できる (45.4%) 【40.9%】

自分に合った仕事や働く場を見つけてくれるところがある (38.9%) 【36.4%】

就職や仕事に関する情報を教えてくれるところがある (29.6%) 【23.1%】

分野7 情報・コミュニケーション

○ 障がい者に対するアンケート調査

- ・障がいまたは障害福祉サービスの情報をどのように入手しているか（新規）

行政機関の広報誌（34.7%）

本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース（31.2%）

福祉サービス事業所の人や施設職員（26.2%）

○ 障がい児（保護者）に対するアンケート調査

- ・障がいまたは障害福祉サービスの情報をどのように入手しているか（新規）

家族や親せき、友人・知人（38.0%）

インターネット（スマートフォン等の携帯端末）（36.1%）

福祉サービス事業所の人や施設職員（34.3%）

○ 難病患者に対するアンケート調査

- ・障がいまたは障害福祉サービスの情報をどのように入手しているか（新規）

障がい者団体等（家族会、患者会、各団体の機関紙を含む）（54.6%）

行政機関の広報誌（51.9%）

本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース（43.5%）

分野8 スポーツ・文化

○ 障がい者に対するアンケート調査

- ・過去1年間にやったことのある運動（新規）

散歩（52.2%）

ウォーキング（20.6%）

体操（ラジオ体操など）（20.2%）

○ 難病患者に対するアンケート調査

- ・過去1年間にやったことのある運動（新規）
散歩（58.3%）
ウォーキング（25.0%）
体操（ラジオ体操など）（22.2%）

分野9 安全・安心

○ 障がい者に対するアンケート調査

- ・防災に関して不安なこと
避難場所でうまく生活できるか不安（54.4%）【53.7%】
特に不安は感じていない（23.0%）【24.2%】
災害発生時に手助けしてくれる人がいない（21.6%）【20.7%】

○ 障がい児（保護者）に対するアンケート調査

- ・防災に関して不安なこと
避難場所でうまく生活できるか不安（76.0%）【71.4%】
災害発生時に手助けしてくれる人がいない（31.5%）【32.4%】
情報の入手が十分にできない（自分の逃げる避難所がわからない）（21.0%）【28.6%】

○ 難病患者に対するアンケート調査

- ・防災に関して不安なこと
避難場所でうまく生活できるか不安（62.0%）【65.2%】
特に不安は感じていない（20.4%）【13.6%】
災害発生時に手助けしてくれる人がいない（19.4%）【29.2%】

分野10 差別の解消・権利擁護

○ 障がい者に対するアンケート調査

- ・差別を受けたり、いやな思いをしたことがあるか
ある（46.6%）【49.5%】

- それはどのようなことか
 - いやなことを言われた (66.0%) 【65.7%】
 - じろじろ見られた (52.5%) 【61.5%】
 - 仲間はずれにされた (30.4%) 【32.4%】

○ 障がい児（保護者）に対するアンケート調査

- 差別を受けたり、いやな思いをしたことがあるかある (61.2%) 【69.0%】
- それはどのようなことか
 - いやなことを言われた (63.2%) 【62.4%】
 - じろじろ見られた (65.3%) 【73.1%】
 - 仲間はずれにされた (27.4%) 【24.6%】

○ 難病患者に対するアンケート調査

- 差別を受けたり、いやな思いをしたことがあるかある (35.2%) 【34.5%】
- それはどのようなことか
 - いやなことを言われた (50.0%) 【59.3%】
 - じろじろ見られた (34.2%) 【48.4%】
 - 仲間はずれにされた (13.2%) 【14.3%】